

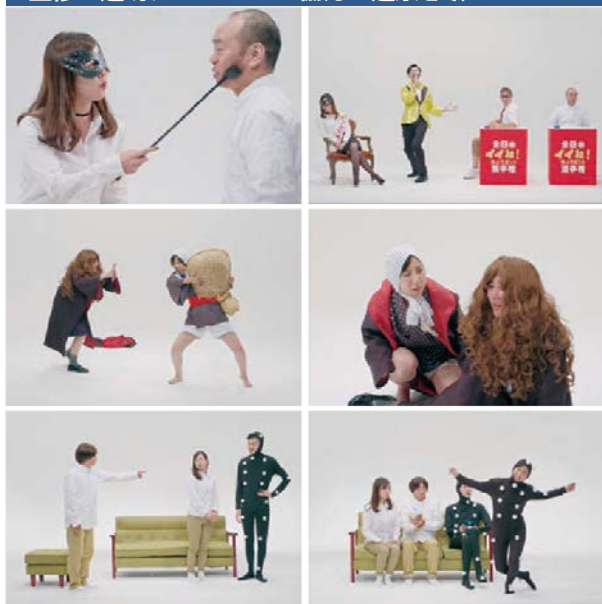
Maruzen eBook Library は、学術・研究機関のための学術情報に特化した電子書籍をご提供する丸善雄松堂オリジナルのプラットフォームです

テーマは深く！表現は柔らかく！ 笑って学べる新教材ついに完成！

社会学 情報学 メディア関係 の
授業への導入や、初年次教育などに是非ご活用ください！

① ネットの中の「わたし」(35分)

監修：辻 泉 中央大学 教授 協力：辻泉ゼミ、中央大学文学部社会情報学専攻、中央大学FLPジャーナリズムプログラム



ネットの中のコミュニケーションに重きが置かれる今日、「わたし」のありようも大きく変わりつつある。「空気」「キャラ」「記憶」「リアリティ」といったキーワードをもとに、インターネット時代の新しい「わたし」のありようについて考える。

コント1. 全日本イイね！ちやうだい選手権【承認欲求と「空気」】
SNSで「イイね！」を増やしたい中年男性。前年度日本チャンピオンに弟子入りし、その極意を習得しようとするが果たして成果は？

コント2. 無限どじょうすくい【忘れられる権利】
格式高き日本魔女ハイスクールの生徒であるメリーとアン。おふざけでネットにアップした「どじょうすくい」の動画はその後数年にも渡り…

コント3. バーチャル？さん【複数のリアリティを生きる】
「ゲーム」と「現実」の世界が入り混じる今日。「イケメンキャラ」と「さえない幼馴染」。それぞれの世界で同時にプロポーズされた女性の日常生活とは？

② フェイクでつくられる世界 (32分)

監修：松田 美佐 中央大学 教授



フェイクニュースの拡散が選挙結果に大きな影響を及ぼす今日の社会。フェイクニュースは何故どう生まれるのか？「事実」と「虚偽」の判断が困難な世界で信じられる情報とは？

コント1. 事件【#拡散希望の危険性】
「動物園から逃走したサルが警官の拳銃を窃盗した」よかれと思い近隣市民に向け、「#拡散希望」でツイートした夫婦。その夜ふたりの前に現れたのは…

コント2. フェイク・プリーズ！【世論をつくり出す仕掛け】
市議会議員選挙投票日まであと1週間。ライバルの新人候補を失脚させようと、ベテラン議員は秘書にフェイクニュースの作成・拡散を指示する。

コント3. お答えします【ポスト・トゥルース社会を生きる】
近未来の家電売り場。世に溢れるニュースの真偽を判定する新商品「ファクトチェック・マシーン」の魅力を熱弁する販売員とそこに近づく女性客。

● 表示価格は税抜きです。● 動画は印刷・ダウンロードができません。● 監修者・著編者等の所属・役職は発行当時のものです。

2020年1月

- **POINT1** コント+解説という構成。各巻にテーマにそった3つのコントを収録しています。
- **POINT2** 各コントは解説含めて約10分。授業で使いやすく、ディスカッションの題材に最適です。



③ビッグデータを考える (35分)

監修：南田 勝也 武蔵大学 教授



ネットショッピング、ICカード、SNS、位置情報…。私たちの行動は記録され、巨大なデータ群として企業や国に集積されている。ビッグデータとそれを活用するAIが人間社会にもたらすものとは何か？

コント1. ワケあり【個人情報の収集・分析・利用】

就活中の女子学生が訪れた「レストランsocosoco」。メニュー表には「わたし向けオススメ500円（ワケあり）」と見慣れない文字が…

コント2. 誰かが、わたしを【監視とプライバシー】

深夜のコンビニエンスストア。何かに追われているような挙動不審の男がやって来る。防犯カメラから必死に身を隠すその男の心境は？

コント3. お悩み相談室【ビッグデータに計れないもの】

ビッグデータによるビッグデータに関する無料カウンセリング会場。AIのアルゴリズムがはじき出すオススメ情報に不満を持つ若者が詰め寄る。

②災害時の心理とメディア (31分)

監修：酒井 信 文教大学 准教授



事故や災害時、何が私たちの生死を分けるのか？「異常」を感知しにくい心理状態で、デマやフェイクニュースなど流言飛語が拡散する現代社会。災害大国に住む私たちに必要な、非常時への心理的な備えとメディア受容のあり方を問う。

コント1. いいから、逃げろ【極限状態における行動心理】

その日UFOに襲撃された日本はパニックに陥った。SNSやニュースで信じられない情報が飛び交う中、いち早く避難する妻と現実を受け入れられない夫。

コント2. 日本脱出【災害時におけるメディアの傾向】

原発事故から逃れるためゴムボートで日本を脱出した夫婦。海上から日本の状況を探ろうとする二人だが、ラジオ、SNSから聞こえてくる情報が頼りになるのだろうか…

コント3. 胸騒ぎです【生き残るための判断力】

出勤中、突然の胸騒ぎに立ち尽くす男性。予知夢のように次々と頭に浮かぶ災害のイメージ。目を開けるといつもと変わらぬオフィスの風景だったが、胸騒ぎは続く…

● 表示価格は税抜きです。● 動画は印刷・ダウンロードができません。● 監修者・著編者等の所属・役職は発行当時のものです。

2020年1月

コントで学ぶ メディアと社会とわたし の監修を終えて

1巻監修 辻 泉 中央大学 文学部 社会情報学専攻 教授

笑いながら、話しながら、メディアと社会について学ぶこと。一人で本を黙々と読むだけではなく、周りの人々と意見を交わしながら、時に共感し、時に自分との考えの違いを見つめなおしていくこと、そうした楽しいディスカッションのための教材が出来上がりました。学生とテーマの原案を考えたゼミも、担当者の方々との打ち合わせも、コントの収録時も、現場には笑いが絶えませんでした。そんな楽しいディスカッションの輪に、一人でも多くの方に加わっていただけたらと思います。

2巻監修 松田 美佐 中央大学 文学部 社会情報学専攻 教授

ネット利用が日常化し、いつでもどこでも親しい人とのやり取りが可能となり、自分が気になる情報を調べ、楽しむことができるようになりました。便利で快適になった私たちの日常生活ですが、さまざまな問題も生じています。フェイクニュースの広がりや、その原因でもあり、結果でもある社会の分断化は、その一つ。本巻のコントのさまざまな場面をきっかけに、日常生活の中の「フェイク」を見つけ出し、周囲の人と話し合うことで、その対策を考えてみましょう。

3巻監修 南田 勝也 武蔵大学 社会学部 メディア社会学科 教授

ビッグデータは「21世紀の石油」と呼ばれるほど、社会における重要度が高まり、その価値が注目されています。巨大なデータ群を瞬時に処理できるAIの発展によって、人間の行動予測や環境変動の高度なシミュレーションが可能になったからです。しかし、こと人間の行動に関しては、功罪の二面性をもつことを意識しなければなりません。プライバシー権の抵触にとどまらず、「統計的な“傾向”の言いなりになっていいのか」という哲学的人間像への挑戦が含まれるからです。

4巻監修 酒井 信 文教大学 情報学部 メディア表現学科 准教授

どんなに異常な出来事が起きても、人間は自分たちが慣れ親しんできた日常の秩序を「正常」だと思い込んでしまう傾向があります。ただ人気のある人が言うことや、ネット上で多くの人々が支持する情報が正しいとは限りません。同様に、災害時にみんなが逃がっている方向や、みんなに広まっている情報が正しいとも限りません。人間は「群れる動物」ですが、時に一人一人がメディア・リテラシーを持って情報を収集し、とるべき言動について判断する必要があります。

● 表示価格は税抜きです。● 動画は印刷・ダウンロードができません。● 監修者・著編者等の所属・役職は発行当時のものです。

2020年1月